

大阪市健康増進計画「すこやか大阪21(第2次後期)」の概要

1 計画の概要

- 生涯を通じて、心身ともにすこやかであることは、幸せな暮らしの原点であり、その実現には、市民の主体的な健康づくりが重要。
- 本計画は、第2次計画(平成25～29年度)の評価を踏まえ、重点的に取り組みが必要な項目について検討を行い、「全ての市民がすこやかで心豊かに生活できる活力あるまち・健康都市大阪の実現」に向け、「ライフステージに応じた生活習慣の改善」と「健康を支え、守るための地域づくり」に努め、「生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底及びこころの健康づくり」に取り組むことで「健康寿命の延伸と健康格差の縮小」をめざす。
- 位置づけ：健康増進法第8条に規定する市町村健康増進計画
- 計画期間：平成30年度～35年度
- 推進体制
庁内会議の「すこやか大阪推進検討会議」を開催し、区・関係局と連携協力し健康づくり施策の推進を図る。あわせて、学識経験者、医療関係者、保健関係者、市民代表等で構成する「すこやか大阪21推進会議」において計画の進捗状況や健康づくり施策の総合的な取り組み等について幅広く意見を聴取する。また、地域保健、職域保健、学校保健と連携し計画を効果的に推進する。

健康増進計画期間

所管	名称	期間	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	H34年度	H35年度
国	健康日本21	平成25年度から10年間	←→										
大阪府	健康増進計画	第2次計画：平成25年度から5年間 第3次計画：平成30年度から6年間	←→ 第2次計画					←→ 第3次計画					
大阪市	健康増進計画	第2次計画：平成25年度から5年間 第2次後期計画：平成30年度から6年間	←→ 第2次計画					←→ 第2次後期計画					

2 第2次計画の評価

- 第2次計画(平成25～29年度)では、全体目標である「健康寿命の延伸」の指標を「平均寿命の増加を上回る健康寿命の増加」としていたが、平成22～27年で、平均寿命の増加を上回る健康寿命の増加はみられなかった。
平均寿命の伸び：男性 1.22年、女性 1.01年
健康寿命の伸び：男性 1.02年、女性 0.77年
- 大阪市の1年あたりの健康寿命の伸びは、健康寿命が毎年同じ割合で延伸すると仮定すると、男女とも国より伸びがみられた。
- 分野別の評価では、8分野の目標(55項目)を定め、取り組みをすすめた結果、約6割で一定の改善がみられた。
- 分野別の評価

評価	代表的な目標項目(抜粋)
目標値に達した(7項目)	<ul style="list-style-type: none"> ・75歳未満のがんの年齢調整死亡率の減少(男性) ・虚血性心疾患年齢調整死亡率の減少 ・糖尿病有病者割合の増加の抑制(女性) ・3歳児でう蝕がない者の割合の増加 など
目標値に達していないが改善傾向にある(25項目)	<ul style="list-style-type: none"> ・75歳未満のがんの年齢調整死亡率の減少(女性) ・がん検診受診率の向上(子宮頸がん検診(20歳以上)・乳がん検診(40歳以上)) ・血圧コントロール不良者割合の減少 など
変わらない(12項目)	<ul style="list-style-type: none"> ・成人の喫煙率の減少 ・過去1年間に歯科健診を受診した者の割合の増加(40歳以上) など
悪化している(11項目)	<ul style="list-style-type: none"> ・がん検診の受診率の向上(胃がん検診・肺がん検診(40歳以上)) ・40歳代で進行した歯周炎発着者の割合の減少 など

3 本市の現状・課題

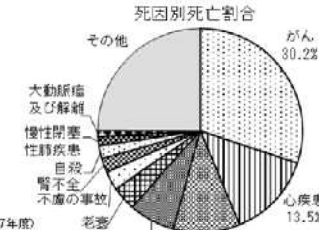
平均寿命と健康寿命

	大阪市 平均寿命			国 平均寿命		大阪市 健康寿命			国 健康寿命	
	H22	H25	H27	H22	H25	H22	H25	H27	H22	H25
男性	77.65年	78.42年	78.87年	79.64年	80.21年	76.12年	76.74年	77.14年	78.17年	78.72年
(H22と比較)			+ 1.22年		+ 0.57年			+ 1.02年		+ 0.55年
女性	85.38年	85.86年	86.39年	86.39年	86.61年	81.86年	82.12年	82.63年	83.16年	83.37年
(H22と比較)			+ 1.01年		+ 0.22年			+ 0.77年		+ 0.21年

- 本市の平均寿命および健康寿命は伸びているが、男女とも全国に比べて低くなっている。

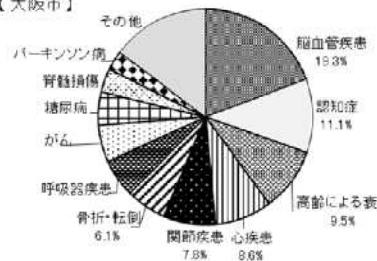
大阪市の死因の状況

平成27年の死亡順位は、1位がん、2位心疾患、3位肺炎、4位脳血管疾患であった。がん、心疾患、脳血管疾患は生活習慣病であり、その3つの疾患を合わせた死亡割合は全体の約5割を占めている。

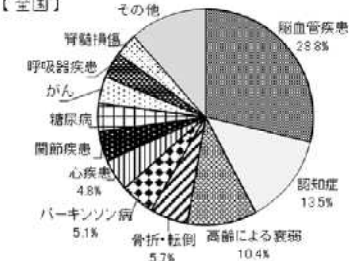


介護が必要となる主な疾患(男性)

本市男性は、1位脳血管疾患、2位認知症、3位高齢による衰弱である。4位の心疾患、5位の関節疾患は全国と比べ順位、割合ともに高くなっている。
【大阪市】

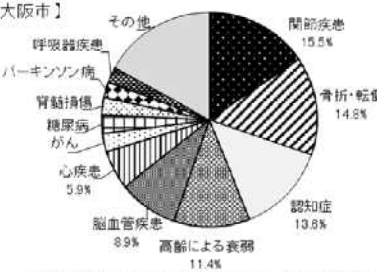


【全国】

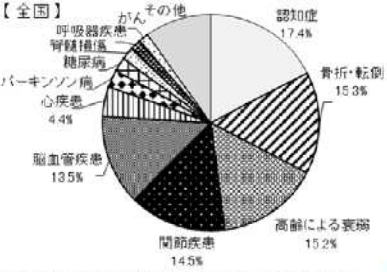


介護が必要となる主な疾患(女性)

本市女性は、1位関節疾患、2位骨折・転倒、3位認知症、4位高齢による衰弱、5位脳血管疾患である。関節疾患は全国と比べ順位、割合ともに高くなっている。
【大阪市】



【全国】



介護が必要となる主な疾患 資料：平成28年度高齢者実態調査(大阪市) 平成26年度国民生活基礎調査(全国) ※割合は不明を除いて算出